

札幌市が使用している給食用箸について

1. 現在使用している箸について

箸の材質	長さ		メーカー名	単価 (税別)	数量	総額 (税別)	購入 時期
ポリブチレンテレフタ レート(強化 PBT)	小学校	195 ミリ	三信化工(株)	79	3,500	276,500	H29.02
	中学校	210 ミリ		74	2,500	185,000	

2. 検討及び購入の経緯について

(1) 検討について

- ・札幌市では、昭和53年から箸の使用を開始し、竹箸（中国製）を使用していた天然素材のため湾曲や黒ずみ等の問題が生じていた。
- ・平成24年度、小学校3校、中学校1校（約2,000人～2,500人）において、7ヶ月間、ビリアン（鉄木）の試行を行ったが、臭いがきつい、ささくれが生じるという意見が多数寄せられた。
- ・素材の候補としては「京華木」の名前も上がったが、具体的な検討はしていない。
- ・以上のことから、札幌市教育委員会では、樹脂製箸のサンプルを調達し、札幌市教育委員会保健給食課や、調理員の代表者の会議、栄養士の代表者の会議等で検討、ポリブチレンテレフタレート（強化PBT）製箸を約30校で試行検証を行い、現在のPBT箸が適当との結論に至った。
- ・PBT決定以前にアミハード（強化ナイロン）を一部で試行したものの、アミハードの試行については詳細な資料が見当たらず詳細は不明。

(2) 購入について

- ・現在のポリブチレンテレフタレート（強化PBT）製箸は、平成26年度末に、240,000膳を購入し、平成27年度から全校で使用を始めた。